

公園内のイノシシ被害軽減のための獣害対策支援業務
技術提案書評価要領

1 要旨

本要領は、公園内のイノシシ被害軽減のための獣害対策支援業務の技術提案書の評価について、必要な事項を定める。

2 評価

評価基準に基づく評価は次のとおりとする。

評価	提案なし	劣る	やや劣る	普通	優れる	非常に優れる
点数	0	1	2	3	4	5

3 評価方法

(1) 全般

- ・評価項目、評価基準、重要度等は別紙技術提案書評価基準のとおり。
- ・評価項目の★は必須項目とし、提案が無い場合は失格とする。
- ・評価点は、各評価項目の評価（選定委員会の各委員が各評価基準に沿って評価した点数の平均値（小数点第2位以下を四捨五入））と重要度を乗じた数値とする。
- ・提出ページ数に指定がある様式について、指定と異なるページ数で提出した場合は、指定のページ以降の記載内容は評価しない。
- ・評価点の合計点数が100分の60に満たない提案は採用しない。
- ・評価点の高い提案から順に採用する。
- ・採用数は2件程度を予定している。

(2) 県内企業

- ・提案者が広島県内に本社、支社、営業所等を有する場合、次のとおり加点する。
コンソーシアムを組織する場合は、コンソーシアムに、該当者が1者以上含まれていれば対象とする。
5：本社を有するもの、3：支社又は営業所を有するもの

公園内のイノシシ被害軽減のための獣害対策支援業務
技術提案書評価基準

評価項目	別記様式	評価基準	重要度	評価点
基本的な考え方★	別記様式 2	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書等を適切に理解し、提案者が本業務を遂行する上での基本的な考え方が示されているか。 目指す姿に向けた方向性が示されているか 	5	25
必須提案技術★	別記様式 3	<ul style="list-style-type: none"> 必須提案は、イノシシの行動履歴・個体情報等の提供のみとなっておらず、実施主体が対策するにあたっての有益な情報（生態学的知見等による分析内容、対策の実施箇所・内容・優先順位等）の提供となっているかどうか。 想定している活用方法（有益情報を各実施主体がどのように活用できるかなど）は妥当か。 必須提案技術は、IoT やドローン等の新技術を効果的に活用して、革新性・他の施設への展開性がある提案になっているか 実証実験の内容が適切に示され、実験方法が明確かつ実現性をもって示されているか。 計画に位置付ける獣害対策が 1 種類だけの場合は失格とする。 	8	40
自由提案技術	別記様式 4	<ul style="list-style-type: none"> ※必須提案技術の評価基準に準じる。 ※技術の提案数も評価の対象とする。 ※必須提案技術で評価した内容については重複して評価しない。 	4	20
実施スケジュール★	別記様式 5	<ul style="list-style-type: none"> 提案技術と実施スケジュールの整合がとれたものとなっているか。 	3	15
県内企業	別記様式 1	<ul style="list-style-type: none"> 広島県内に主たる事業所があるか。 	-	5
委託費計画書★	別記様式 7	<ul style="list-style-type: none"> 次の算定式で委託費計画書の提案期間に係る総額から評価する。 配点(10)×(提案者中の最低額)÷(当該提案者の額) 小数点第 2 位以下を四捨五入 発注者が示す上限額を超過する場合は失格とする。 上限額 履行期間内（実証実験） 250 万円 履行期間後（検証改善業務）年間 250 万円 	-	10
合計点数				115